

平成28年度友愛育成園事業報告書

1. 施設運営管理

本年度は、年度初めに熊本地震が起き予定より5日開所することができない状況でした。(2. 熊本地震の状況)

定員充足状況は、28名のスタートでしたが、6月に生活介護利用者1名が家庭での不慮の事故により亡くなられ、最終の利用契約者数は27名でした。(3-(1)利用者状況) また、工賃向上計画の途中ではありましたが、熊本地震による取引企業が被災したため就労継続支援B型利用者の工賃向上もままならない状況でしたが、現状を維持することができました。(3-(2)年間工賃支給状況)

職員状況は、正職員7名、非常勤職員4名で利用者支援に努めました。11月から支援員が1名病休となりましたが、全職員で補い合い支援の充実に努めました。

(1) 利用者支援

長期目標のため、個別支援計画の長期計画が終了の年を迎え、利用者自己評価を含めたモニタリングを行い長期支援計画の評価を行いました。短期及び長期支援計画の履行について、各々の長期目標達成度と支援成果をケース検討会議を通して確認しました。

また、計画相談支援事業所との連携を図り、現利用者の施設支援計画と相談支援事業所とのサービス等利用計画の整合性を図りました。

①健康支援状況

健康面については、高齢に至った利用者の持病治療支援、

健康面に対する支援、肥満傾向にある利用者への食事支援を行いました。感染症については、徹底した管理の下で園内感染防止に努め11月から5月まで2ヶ月の消毒期間を延ばし、前年度反省したインフルエンザ集団感染の防止に努めるとともに、予防接種も実施しました。

②給食提供状況

経過措置の中で給食提供加算が減額され負担額を増額させて頂き2年となりますが、質を落とすこと無く利用者にとって喜ばれる給食の維持に努めました。検討会議を重ね、希望するメニューを献立に取り入れるよう努力しました。また、肥満抑制のため前年度3%のカロリー削減を維持することができました。(3-(6)年間摂取カロリー状況)

③年間行事状況

各種行事においては、社会性を身につけ、団体行動により社会性を養う目的で実施しました。特に当年度は、体、手先を動かすことに主眼を置き、野外活動、創作活動を多く取り入れました。(3-(3)行事・訓練・健康診断状況、3-(4)実習受入状況)

(2) 介護支援状況(生活介護事業)

生活介護事業は、新規の利用者はなく、自宅でのど詰めにより亡くなられ利用解除が1件がありました。日々の作業の中で規則正しい日課を守り、個々に生活習慣を理解し日々注意する取り組みの必要性を痛感しました。

継続して作業を基本に過ごすとともに、生活能力の向上に繋がるよう、作業を利用した訓練を中心に行いました。生活訓練には、創作活動、余暇活動なども取り入れ、個別に対処するこ

とにより本人に合った訓練を行いました。

月に1度の行事については就労継続支援B型事業と合同で行うことを継続し、できないところは移動支援を行いながら集団行動、社会学習を就労継続支援B型の利用者と一緒に行うことで行動レベルを下げないよう努力しました。(3-(3)行事・訓練・健康診断状況)

(3) 作業支援状況 (就労継続支援B型事業)

就労継続支援B型事業では、工賃向上計画を踏まえ工賃向上に取り組みましたが、前半の地震の影響を取り戻すことが精一杯でした。委託作業状況は、前半で減収になる企業が多く、受注は不安定な状況でした。当年度より取り入れた作業も安定した受注ができました。

自主製品の製造販売については、卒業、部活引退シーズンの動きが悪くまた、大口受注もなく大幅な減収となりました。複数年にわたりご注文頂くクラブや部活からの発注は継続しているため、新規の開拓に力を入れていきます。販売会は、県セルフセンターの販売会、工賃向上計画推進事業(県主催、2ヶ年計画)の販売会に参加し販売促進を図り、商品宣伝に繋がるよう努力しました。

仕入販売は、年々減少の傾向にあるため販路の開拓が必要ですが、地震の影響も有り思うようには進みませんでした。各販売会、はばたきホーム夏祭りに模擬店出店を行い、生産活動の一環として地域交流を深め地域に施設を理解して頂く活動としました。(3-(2)年間工賃支給状況、3-(5)①作業状況、3-(5)②販売会参加状況)

(4) 保護者会

保護者会は、熊本地震の影響も有り、活発な活動はありませんでした。

保護者参加の行事は、11月に地震の影響が少なかった山鹿市へ旅行し、食事やくじ引き大会を行いながら利用者間、保護者間の親睦を深めました。パークドームで開催予定だった熊本市障がい者大運動会は中止となりましたが、園での様子を見て頂くため公開作業日は実施しましたが、思うような参加はありませんでした。(3-(3)行事・訓練・健康診断状況)

行事等に参加できない保護者に対しては、日々の様子の報告を月刊「ゆうあい」の中で紹介を続けました。

保護者会関連行事 保護者会役員会、会計監査(書面で実施)
保護者会総会(中止)
11/12 保護者交流行事
12/17 作業公開日

(5) 職員資質向上

限られた職員数の状況下で、研修への参加は難しい状況でした。また、熊本地震の影響も有り研修も大幅に削減された状況でした。県就労センター協議会主催の工賃向上研修、障害特性の研修、制度理解の研修に参加しました。各研修の内容は、参加職員が会議で発表し内容を共有しました。(3-(7)研修状況)

2. 熊本地震の状況

4月14日	21時26分、震度6強の地震発生。
15日	余震はあったが開所する。道路状況が不明だったため就労Bの迎え時間を1時間遅らせる。14名出席。施設の被災状況は、作業素材、パソコン等の落下はあったが甚大な被害無し。
16日	1時25分、震度6強の地震発生。
17日	利用者安否を電話確認。18日の開所を決定（昼食持参）。西部ガスが安全確認のため元栓を閉栓。
18日	開所する。食事の問題と避難状況により7名の出席（内2名は半日）。作業を行いながら、被害状況を確認するが大きな被害は無し。ライフライン（ガス、水道）が確保できないため19～20日の閉所を決定。全利用者に連絡。
19日	職員出勤（正職6名、非常勤2名）。午前中にて解散。
20日	職員出勤（正職6名、非常勤2名）。水道が停止していたが、12時頃復旧するも圧が弱く2階までは届かず。午前中にて解散。16時以降もガスの復旧はなく、24日までの閉所を決定し利用者へ連絡する。
21日	職員出勤（正職6名、非常勤2名）。雨が降ったため職員で手分けして雨漏り、被害状況確認。午前中にて解散。
22日	9時時点で、水道・ガス進展無し。17時時点で、水道・ガス進展無し。
24日	16時時点で、水道・ガス進展は無いが、利用者のフラストレーションを考え、25日は午前中のみの開所を決定。利用者に連絡。
25日	生活介護事業在籍4名中2名出席。就労継続支援B型事業24名中18名出席。閉所期間中の生活等の聞き取りを行う。また取引企業に連絡し作業を確保。午前中にて解散。水道・ガス進展は無いが、翌日からは弁当を確保し全日開所を決定。利用者に連絡。
26日	朝より水道の圧が強くなっていることを確認。取引企業は1社のみ稼働だったが、事前に確保した作業があり作業を開始。一級建築士野田氏に建物点検依頼。外壁等に緊急性がある被害は無いとの報告を受ける。
27日	生活介護事業在籍4名中3名出席。就労継続支援B型事業24名中21名出席。給食提供以外は平常化する。
30日	西部ガスの安全確認が終わり開栓され、ライフラインがすべて整う。
5月6日	給食提供を開始。

③ 年齢別状況

平成29年3月31日現在

事業、性別	区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均年齢
	生活介護利用者数	男性	0名	0名	0名	1名	1名	0名	2名
女性		0名	0名	0名	1名	0名	0名	2名	48.0歳
就労継続支援B型利用者数	男性	0名	5名	3名	7名	1名	1名	17名	39.7歳
	女性	0名	0名	3名	4名	0名	0名	6名	39.5歳
計		0名	5名	6名	13名	2名	1名	27名	39.5歳

④ 生活介護利用者利用者障害支援区分

平成29年3月31日現在

障害支援区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
人数	0名	1名	0名	2名	0名	0名	33名

(2) 年間工賃支給状況（就労継続支援B型）

(単位：円)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
27年度	299,469	234,842	317,744	325,638	302,714	300,496	344,326
28年度	224,975	315,133	370,441	311,529	330,584	299,531	312,149
支給者数	24	24	24	24	24	24	24
平均(総額÷利用者数)	9,375	13,131	14,818	12,980	13,774	12,480	13,006
月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	年度
27年度	312,892	281,418	307,209	317,735	336,257	0	3,680,740
28年度	305,037	288,024	302,432	322,872	348,698	0	3,731,405
支給者数	24	24	24	24	24	0	288
平均(総額÷支給者数)	12,710	12,024	12,601	13,453	14,529	0	12,956

(3) 行事・訓練・健康診断状況

実施月	行 事	目 的	場 所・内 容
4月	9日 ボウリング 28日 生活介護健康診断	体育訓練、集団訓練 健康管理	ラウンドワンスタジアム熊本 寺原診療所
5月	9日 創作活動	芸術活動、指先訓練	手作りガラスアート
6月	6日 避難訓練 18日 遠足	体育訓練、集団訓練	火災 坪井川緑地公園
7月	11日 調理実習	調理訓練	ハンバーグと味噌汁
8月	23日 カラオケ	社会見学、集団訓練、慰労	カラオケクラブDAM
9月	9～10日 一泊旅行 28日 生活介護健康診断	慰労、社会見学、集団訓練 健康管理	南阿蘇、阿蘇、杖立方面 寺原診療所来所
10月	8日 調理実習 18日 生活介護健康診断	調理訓練 健康管理	オムライスとコンソメスープ 寺原診療所
11月	12日 保護者交流行事 16日 インフルエンザ予防接種	慰労、社会見学、集団訓練、保護者間交流 健康管理	山鹿 米米惣門ツアー 寺原診療所（希望者のみ）
12月	3日 創作活動、ラーメン会食 17日 作業公開 28日 おつかれさま会	芸術活動、指先訓練 作業見学 慰労会	カレンダー作り、こだいこラーメン 作業の状況を見てもらう ビデオ鑑賞
1月	14日 カラオケ	社会見学、集団訓練、慰労	カラオケクラブDAM
2月	11日 調理実習	調理訓練	豚汁とぜんざい
3月	22日 避難訓練 25日 花見	合同避難訓練 社会見学、体育訓練、集団訓練	崖崩れ（非常災害） 熊本城二の丸広場
備考	誕生会 毎月（紹介、誕生プレゼント） 園機関誌「ゆうあい」月1回発行		

(4) 実習受入状況

○養護学校等

月 日	養護学校名	人数
6/13～6/24	松橋支援学校	1名
6/22～6/28	熊大特別支援学校	1名
6/28～7/ 5	熊本支援学校東町分教室	1名
6/15～6/26	井芹中学校ナイストライ	2名
年 度 合 計		5名

○養成期間等

月 日	養成機関名	人数
2/20～3/4	尚綱短期大学	2名

(5) 作業状況

①収入状況

(単位：円)

受諾加工事業収入				
取引先	月平均額	年間総額	前年比	備 考
M 社	69,934	839,206	369,571	電子部品運搬ケース加工作業
I C 社	53,877	646,523	190,577	果物用ネット加工作業
K O 社	38,640	463,680	△240,242	箱折り作業
K A 社	41,596	530,830	31,674	製品封入作業
S 社	43,506	184,199	取引終了	スプリング加工 10月で取引終了
C I 社	27,123	325,473	新規取引先	印刷商品加工全般
そ の 他	39,448	477,370	△199,273	ピンバッチ封入等期間指定作業他
仕入商品事業収入				
I 社 他	—————	258,679	△34,815	素麺、うどん他仕入販売 (年2回)
自主製品事業収入				
自主製品	66,394	796,731	△1,499,849	ストラップ・キーホルダー等制作
合 計	—————	4,601,247		

※ 前年度収入5,845,812円 1,244,565円の収入減

②販売会参加状況

期 日	販 売 会 名	会 場	主 催
7/18	はばたきホーム夏祭り	園庭	はばたきホーム
8/28	24時間テレビ販売会	下通	熊本県セルフセンター
11/18～20	障がい者福祉施設販売会	イオンモール熊本	熊本県セルフセンター
1/7	障がい者福祉施設等展示商談会	県庁	熊本県
2/24～26	障がい者福祉施設販売会	ゆめタウン光の森	熊本県セルフセンター

(6) 年間摂取カロリー状況

(単位：kcal)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
平均加リー	697	693	699	697	697	699	700	699	698	698	699	699	698

(7) 研修状況

月 日	会議・研修名	主 催	人員
7/5～6	ストレスケア研修	熊本県社会福祉協議会	1名
11/9	工賃向上計画研修	熊本県社会就労センター協議会	1名
11/18～20	全国生産活動・就労支援部会研修会	全国社会就労センター協議会	1名
11/18～19	先進地視察研修	熊本県セルフセンター	1名
2/22	成年後見人制度推進研修会	熊本県社会福祉協議会	1名

4. 施設整備状況

震災の影響も少なく、特に行っていません。